

なと前ハファシズム政権ニ佐人帝日主義政府実カ打倒ノ70年安保実カ粉碎ノ
本日、外国人ニ法案粉碎闘争に総決起せよ!

「右翼ファシズム粉砕闘争に圧倒的に勝利した」

我社会学同部隊により文字通り、荷負われ切った奥田大学闘争は、6月20日、大学会館封鎖に端を発し、長年、暴力で支配を欲し、にこてきた右翼体育会とそれに結合した教授会、理事会への全南大生的決起を保證した。本校、口頭同盟の俊逸、日和見主義の指頭の中で、右翼ファシズム粉砕の救世主「正義の味方」として、この名に及ぶも隊と、その后に続く、それと同数の学生を保證した。日本刀、カレライ、木刀等々を支配の道具としてきた体育会に、我赤ヘルメット、鉄パイプ部隊が完璧な返の勝利したからであつた。

外国人ニ法案を粉碎せよ!

現代世界の危機とは、正に先進帝日主義に於る侵略と反革命の不統一、即ち米帝に於ける至占界支配からの敗退なウエドナム戦争の系統化の中からの黒人闘争、米反戦闘争と云う階級闘争の暴発として、自由の女神としての米軍の神話の解体局面から、即ち米日内の国家形態の転換を先行的に向われて行く如く、もう一度米帝が占界に再攻勢を向け、巻き返しを図る為、日本帝日主義ブルジョアに於ても、集中的に資本投下をした東南アジア(侵略)と、その資本そのものに敵対する后進日民族解放闘争を粉碎する帝日主義軍隊の未確立こそが最も、ブルジョアに於て克服不能なものはならないものである。

かかる危機に媒介されるが故に、大学治定立法や外国人ニ法案が国会に提出されるのであり、外国人ニ法案とは、この様な日内治定立法としてのそれと、同時に、沖縄問題、北方領土としての外交路線に展開されてきて居る、ナチヨナリズム攻勢そのもの、日内在留外国人と日本人の区別と云う問題としての外国人ニ法案として提出されたのである。

この様に、今に至るまであるが故に、(ズトートに人民を侵略戦争に押し出し得ず、また日内再編、それも国家形態の転換として、コロネタリア人の日内面的破壊、排外主義、ナチヨナリズムによる日内面的言志統一を、ファシズムによる、力貫徹し得ない)、70年安保と云う反革命同盟本館に於て、必要なのである。我々な、70年安保闘争を語る場合は、正にこの帝日主義そのものとしての、ファシズムの決起と決する事である。それは、反ファシヨ統一戦線としての、帝日主義ブルジョア打倒をめもの、権力闘争(法律をよりどころとせず、武装した住民大衆の直接の力をよりどころとする)を力あつちたてる闘い(めき)の闘い(めき)として、その二つの闘いそのもの、反ファシズムとの闘いである。帝日主義そのものによる、ファシズムとしての国家の右からの解体に於いて、我々革命的左派による、**右**からの解体としての、至占界コロネタリヤ独裁準備されねばならぬのである。

70年安保闘争は、日本に於る革命戦争であり、もし、このまま、我々の闘いが現在の域を脱しえなれば、行くなら、帝日主義ながら、前シファシズムからファシズムへの移項として、オ四次防、オ五次防から、海外出兵、帝日主義戦争が開始されるのだ。

すべての学友諸君、
 本日の闘いに決起せよ、朝鮮人民と固く連帯せよ、日帝打倒、朝鮮民族を打倒の闘いを打ち拓け!

すべての闘う学友は社会学同に結集せよ!

社会学同

本日のスケジュール
 1:30 校内総決起集会
 (横断、朝鮮、総連) 4/10
 4:30 聖大、阪大、共大、決起集会
 5:30 社会学同総決起集会
 示も